

## 地震調査研究推進本部の成果普及展開事業について

平成 26 年 3 月 4 日

### (1) 概要

「新たな地震調査研究の推進について」（平成 24 年 9 月 6 日改訂）では、地震調査研究の成果の情報提供・成果発信の多様化、充実を図るとともに、地震調査研究の成果を普及展開し、国民の防災意識の向上等を諮ることが求められている。本業務は、これらを具体化する取組として、パンフレット等の作成、地震調査研究推進本部ホームページのリニューアル、シンポジウムの開催を実施予定。

### (2) 実施予定の内容

- パンフレット等の作成
  - ・一般向けパンフレット・子供向けパンフレットの作成、好事例集の作成（既存パンフレット等の収集）、素材集の作成（画像等の収集）
- 地震調査研究推進本部ホームページのリニューアル
  - ・コンテンツの整理、デザイン等の変更
- シンポジウムの開催
  - ・一般向けの少人数を対象としたカフェ的なイベントの実施

### (3) 進捗状況

平成 24 年度に総合部会にて作業チーム（WG）を設置して検討することを決定後、パンフレット・副教材WG（※1）、地震調査研究推進本部ホームページ改善WG（※2）にて検討を実施。現在、WG 委員にもご意見を伺いながら、パンフレットの作成等の具体的な作業を実施中。

（※1）

国崎 信江	危機管理教育研究所 代表
納口 恭明	（独）防災科学技術研究所総括主任研究員
吉井 博明	東京経済大学コミュニケーション学部 教授
佐藤 浩樹	スポーツ・青少年局学校健康教育課安全教育調査官

（※2）

東 宏樹	（独）防災科学技術研究所研究員
国崎 信江	危機管理教育研究所 代表
中森 広道	日本大学文理学部社会学科 教授

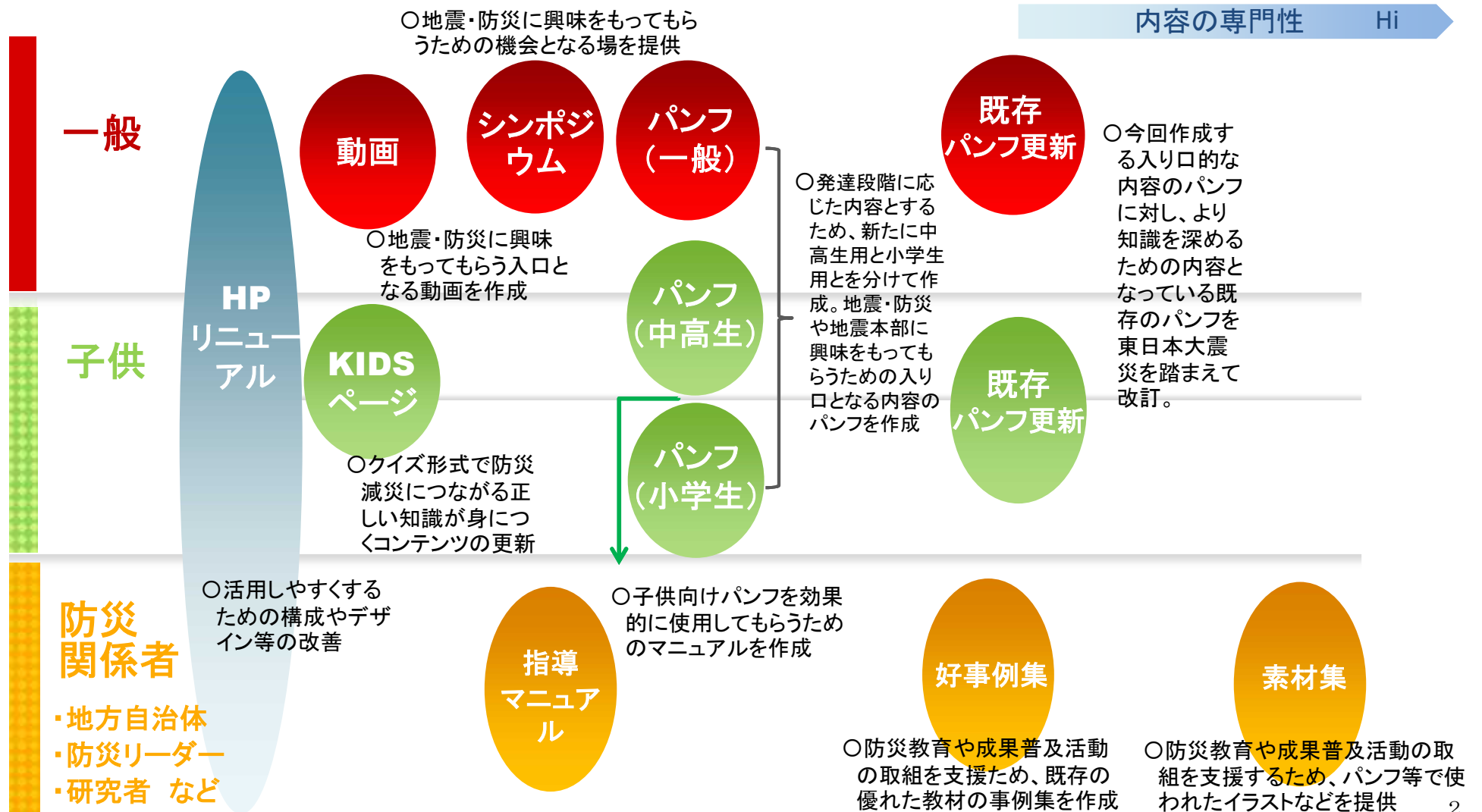
# 地震調査研究推進本部の成果普及展開事業概要

## 目的

- ① 減災・防災つながる正しい知識等を普及
  - ・研究成果の情報発信
  - ・防災教育や成果普及活動の取組を支援
- ② 地方自治体や研究者への研究成果の提供

## 観点

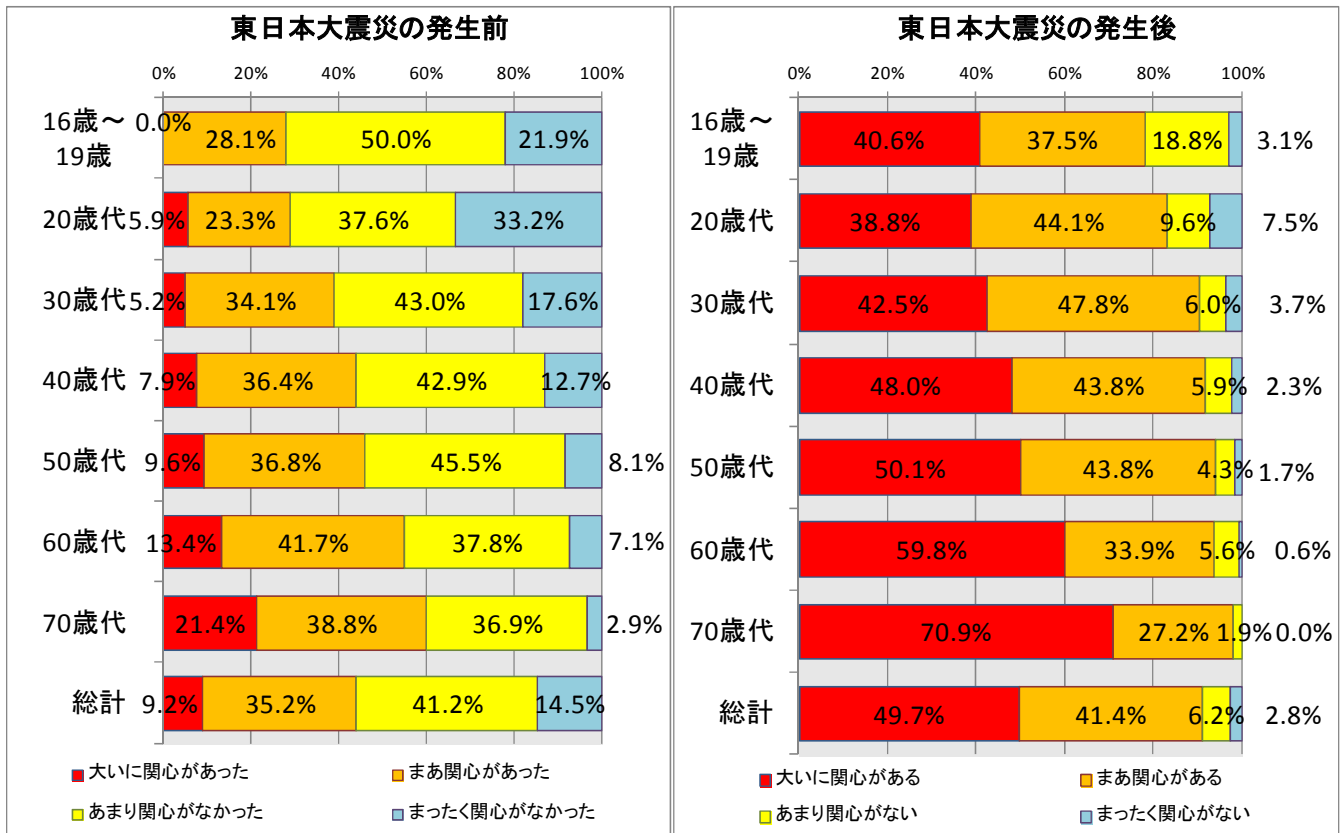
- ① 分かりやすい資料の提供
  - ・薄い関心の層への訴求力
  - ・地震・防災の学習とは思わせないコンテンツづくり
- ② 情報発信の多様化・充実



平成 24 年度 一般国民アンケート調査 年代別集計結果

○東日本大震災の発生前後の地震・津波災害や防災対策への関心

・各年代とも震災発生前後で防災対策への関心は高くなっている。  
 ・「大いに関心があった」の項目に対し、若年層（30 代以下）は震災発生前において 5%程度、震災発  
 生後においても 30%前後と 40 歳代以上と比較し、関心が低い。








<震災発生前>

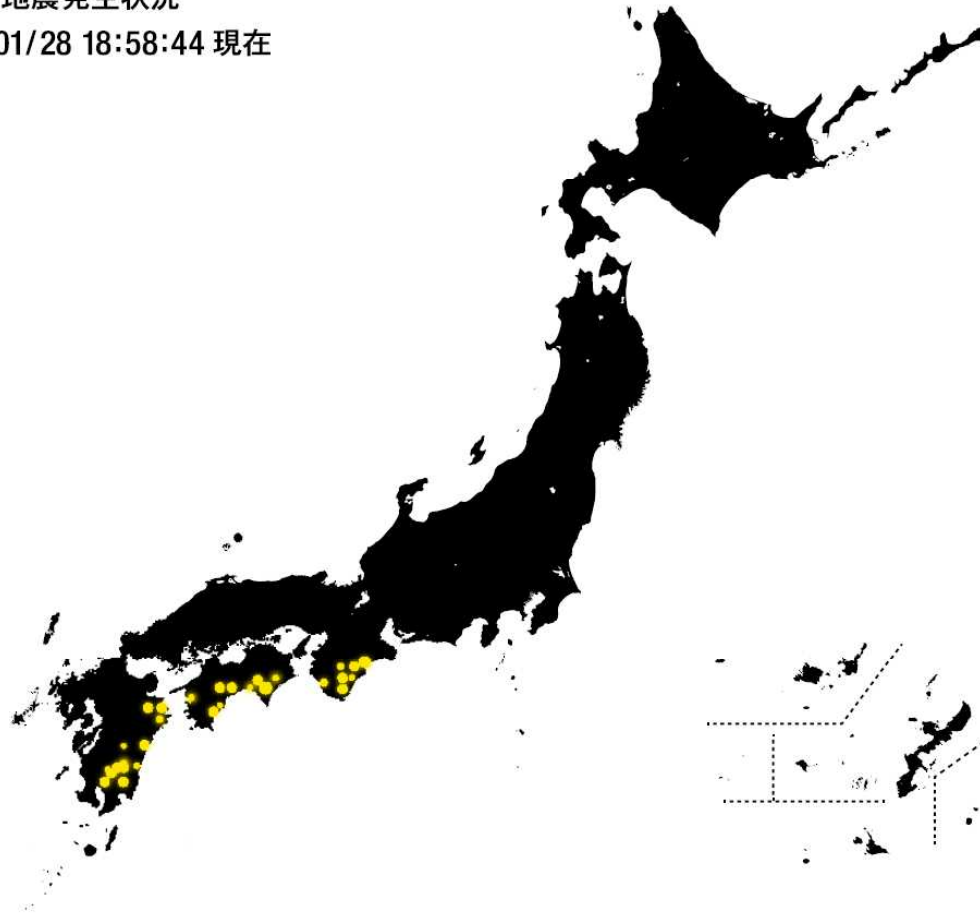
	大いに関心があった	まあ関心があった	あまり関心がなかった	まったく関心がなかった	総計
16歳～19歳	0	9	16	7	32
20歳代	19	75	121	107	322
30歳代	20	130	164	67	381
40歳代	28	129	152	45	354
50歳代	33	127	157	28	345
60歳代	62	193	175	33	463
70歳代	22	40	38	3	103
総計	184	703	823	290	2000

<震災発生後>

	大いに関心がある	まあ関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	総計
16歳～19歳	13	12	6	1	32
20歳代	125	142	31	24	322
30歳代	162	182	23	14	381
40歳代	170	155	21	8	354
50歳代	173	151	15	6	345
60歳代	277	157	26	3	463
70歳代	73	28	2	0	103
総計	993	827	124	56	2000

-  3分でわかる地震本部の活動
-  都道府県ごとに地震活動をしらべよう
-  各種パンフレット
-  アウトリーチ活動素材集
-  キッズページ

現在の地震発生状況  
2014/01/28 18:58:44 現在




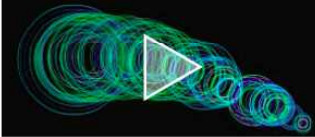
最新の地震が  
**下関** で発生しました。

# M 2.1

北緯38.4度 東経142.1度  
震源の深さ 約40km  
地震の規模(マグニチュード)4.0

 [詳細レポート](#) >


プロモーションビデオ



Copyright© The Headquarters  
for Earthquake Research Promotion,  
All rights reserved.

### 新着情報

2014.01.29 (開催結果) 第66回調査観測計画部会 2014.01.17 (広報誌) 広報誌「地震本部ニュース」平成25年10月号 2014.01.15 (評価) 2013年12月の地震活動の評価

地震調査研究推進本部事務局  
(文部科学省研究開発局地震・防災研究課)  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2   
TEL. 03-5253-4111(代表)

関連機関  
リンク  




地震本部とは？

地震・津波の知識

地震に関する評価

計画と予算

事業報告など

Like



### 現在の地震発生状況

2014/01/28 18:58:44 現在



#### 2013/09 - 2014/01

2013/09/21 15:22:42 **M1.5**  
2013/10/02 18:52:32 **M2.2**  
2013/10/13 00:23:41 **M2.3**  
2013/12/11 12:23:34 **M1.3**  
2013/12/16 18:44:25 **M1.2**  
2013/12/23 17:51:13 **M0.3**  
2013/12/28 23:25:23 **M2.6**  
2014/01/13 03:43:34 **M1.1**  
2014/01/20 06:32:10 **M2.5**

詳細な震度の情報を見る

各地の震度に関する情報 >  
(気象庁)

地震による被害の推定状況  
を見る

J-R I S Q地震速報 >  
(防災科学技術研究所)

最新の地震が

**下関** で発生しました。

# M2.1

北緯38.4度 東経142.1度  
震源の深さ 約40km  
地震の規模(マグニチュード)4.0



詳細レポート >



3分でわかる  
地震本部の活動



都道府県ごとに地震  
活動をしらべよう



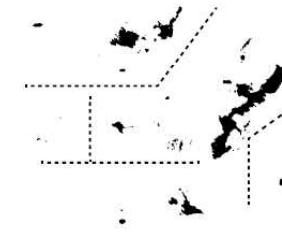
各種パンフレット



アウトリーチ  
活動素材集



キッズページ



プロモーションビデオ



Copyright© The Headquarters  
for Earthquake Research Promotion,  
All rights reserved.

### 新着情報

平成26年02月04日18時53分 気象庁発表  
04日18時49分頃地震がありました。

各地の震度は次の通りです。

岩手県 震度1 墨田町世田米 一関市千厩町 一関市室根町 一関市藤沢町  
宮城県 震度1 気仙沼市唐桑町 大崎市古川三日町 大崎市古川北町 大崎田尻  
石巻桃生町 女川町女川浜

※この地震による津波の心配はありません。

### 地震調査研究推進本部事務局

(文部科学省研究開発局地震・防災研究課)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 **MAP**

TEL. 03-5253-4111(代表)

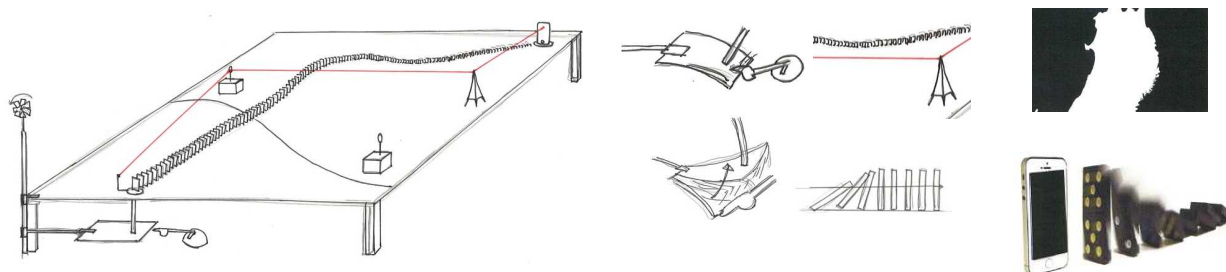
関連機関  
リンク



## MOVIE ① Signal Chase(仮)

緊急地震速報の原理を新しい表現方法で説明した動画により地震調査研究に関心を持ってもらうきっかけ作りをする。

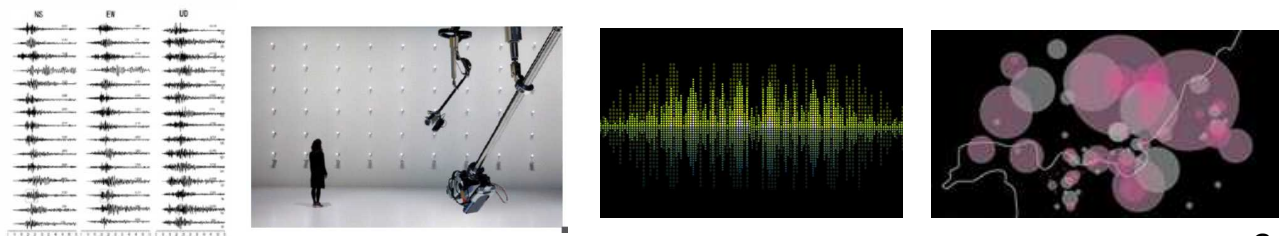
- 地震本部が推進している地震観測網の活用例である緊急地震速報を、以下のような実験装置によって、実際とほぼ同じ速度で表現する。
- これにより、地震観測網の意義や緊急地震速報の仕組みを支える地震研究について関心を持ってもらうきっかけ作りを行う。



## MOVIE ② THE EARTH SYMPHONY(仮)

地震波形データを音や光へ変換した映像を収めた動画を通じて、地震調査研究に関心を持ってもらうきっかけ作りをする。

- 全国の地震計に見立てた、音や光を出すセンサーを、日本地図の形に配置し、過去に起きた地震の強震計データ(地震波形)を、音や光として表現する。
- 大型の映像サウンド環境で可視化・可聴可することで、全国規模の地震活動のスケール感や脈動感を感じとってもらう。  
理論的な説明ではなく、体験を通して、地震へ関心をもってもらうきっかけを作る。  
また、全国の地震計が日本全体を見守っていることを伝える。



# 地震防災カフェ

われわれが住んでいる日本は世界の陸地の1%にも満たない国土ですが、世界で発生する地震のおよそ10%が我が国とその周辺で発生しているといわれています。

そんな地震が多い日本に住む私たちだからこそ、地震・津波に対する理解を深め、日々の生活から防災・減災に取り組む必要があります。そこで、地震に備え、何をすべきか、みんなで考えるイベントを開催します。

## 〈日時〉

平成26年3月17日(月)

18:30 ~ 20:00 (終了予定)

## 〈講師〉

危機管理教育研究所代表

国崎 信江 先生



先生のプロフィール

危機管理アドバイザー。外資系航空会社に勤務した後、主婦に。阪神・淡路大震災に衝撃を受け、自然災害から子どもを守る研究をはじめ。

「地震調査研究推進本部」の政策委員会及び総合部会委員の他、様々な活動を展開している。

## 〈会場〉

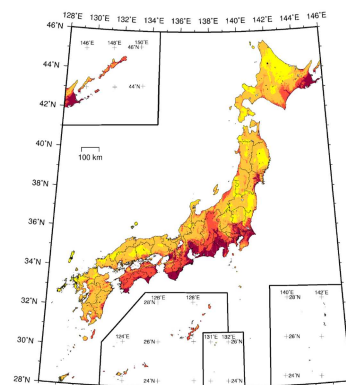
文部科学省旧庁舎1階「情報ひろばラウンジ」(案内図は裏面をご覧ください)

## 〈当日の内容〉

### ◇国崎先生からのご講演

- ・地震発生メカニズムと最先端の調査研究内容の紹介
- ・地震に備えて何をすればよいのか?

### ◇国崎先生と地震・防災について語ろう など



## 〈主催〉

地震調査研究推進本部

## 〈問い合わせ〉

文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課

(地震調査研究推進本部事務局)

TEL: 03-6734-4136 (直通)

(株)日本能率協会総合研究所 地域安全まちづくり研究部 小林・岸田

TEL: 03-3578-7536 (直通)

参加  
無料

飲み物  
お菓子  
付き

## 会場案内

### 〈交通案内〉

文部科学省旧庁舎 1 階

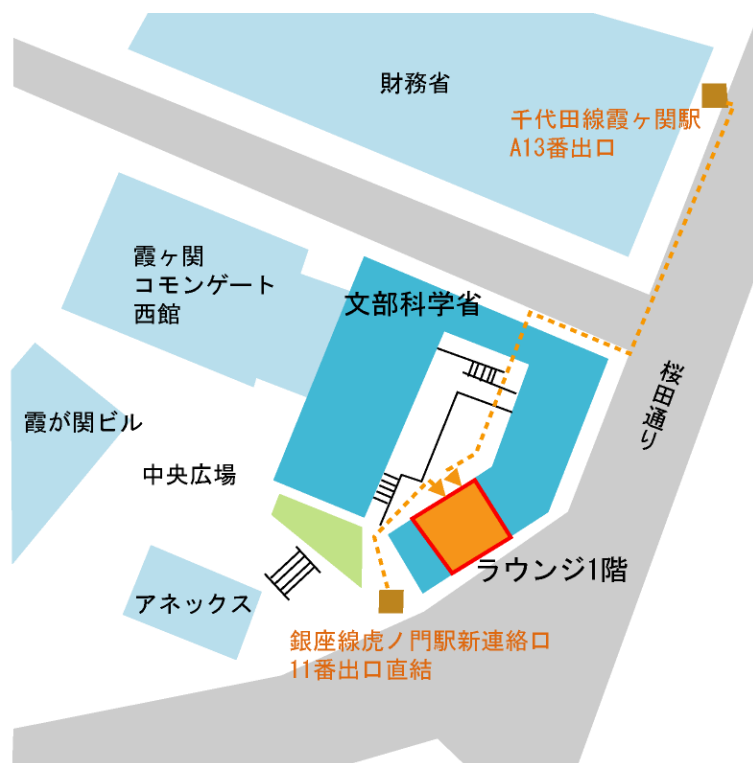
「情報ひろばラウンジ」

銀座線「虎ノ門駅」11 番出口

直結

千代田線「霞ヶ関駅」A13 番出口

徒歩 5 分



## 申し込み方法

- ・参加希望の方はEメール、電話、もしくはFAXで下記宛てにお申込みください。なお、Eメール、FAXの場合は、氏名および「3月17日地震防災カフェ参加希望」と記載の上、下記宛てに送信ください。
  - ・登録は定員になり次第締め切らせていただきます。
  - ・申込みは一人1通でお願いします。
  - ・キャンセルされる場合も、下記連絡先までご連絡願います。
- ※なお「地震防災カフェ」の事務局は、(株)日本能率協会総合研究所に委託し実施しています。

申し込み先：(株)日本能率協会総合研究所 地域安全まちづくり研究部 小林・岸田

E-mail：jishinbousai@jmar.co.jp

TEL：03-3578-7536（直通）

FAX：03-3432-1837

【申し込み締め切り 平成26年3月14日】

FAX 参加申込書	フリガナ 氏名 _____
	先生に聞いて みたいこと ( _____ )

※今回の申し込みで取得した個人情報は、本地震防災カフェに関する連絡以外には使用いたしません。